

原 信教授の略歴および業績

〔略 歴〕

本 籍 東京都

現住所 東京都武蔵野市吉祥寺東町4-4-10

大正13年11月1日生まれ

昭和22年9月 東京帝国大学法学部政治学科
卒業

22年10月 株式会社東京銀行入行

38年3月 同行為替部長代理，為替課長

39年3月 同行西ドイツハンブルク支店
支店長代理

41年9月 同行西ドイツフランクフルト
駐在参事

45年6月 海外経済協力基金出向（調査
部長）

49年11月 東京銀行調査部長

51年10月 同行ニューヨーク支店チーフ
エコノミスト

54年11月 同行退職，非常勤嘱託（57年
4月まで）

56年4月 株式会社三洋経済研究所顧問
三洋投信委託株式会社非常勤
取締役（平成元年11月まで）

57年4月 文京女子短期大学経営学科教
授（国際経済，証券市場，時
事英語）

平成3年4月 文京女子大学経営学部教授
（国際金融，外国書講読，専門
演習）（平成10年3月まで）

8年4月 文京女子大学大学院教授（国
際金融）（平成10年3月まで）



10年3月 文京女子大学および同大学院
退職

文京女子大学名誉教授
引続き同学経営学部および大
学院において非常勤講師（国
際金融）として現在に至る
（非常勤講師略歴）

昭和50～51年 法政大学経済学部（国際金
融）

51年 横浜国立大学経済学部（外
国為替）

54～57年 国学院大学経済学部（国際
金融）

54～平成7年 東京女子大学文理学部（国
際金融）

54～平成6年 千葉大学経済学部（国際金
融）

昭和57～59年 成蹊大学経済学部（国際金融）
57～58年 新潟大学経済学部（国際金融）

〔研究業績〕

〔著書・単著〕

『為替リスク』昭和57年，有斐閣
『国際金融概論』平成4年，有斐閣
10年新版

〔著書・共著〕

『国際金融市場』昭和56年，有斐閣
63年第二版
『アメリカの高金利政策』昭和59年，有斐閣
『東京マネーマーケット』昭和58年，有斐閣
平成8年第五版
『先物取引』昭和58年，有斐閣
『国際金融，資本主義』昭和63年，有斐閣

〔学術論文〕

「リーズ アンド ラッグズ」昭和57年，文京女子短期大学経営学科紀要
「シカゴの通貨先物市場—実態とその意義—」昭和58年，同上紀要
「世界的不況と為替相場問題」昭和58年，証券

投資信託月報

「円の国際化と国内金融市場の変化」昭和59年，証券投資信託月報

「国際金利裁定」1～3，昭和59・60・61年，同上紀要

「最近の為替相場と為替リスク問題」昭和60年，企業会計

「為替市場への協調介入」昭和60年，証券投資信託月報

「G 5 以後」昭和61年，証券投資信託月報

「為替協体制と目標圏構想」昭和62年，証券投資信託月報

「ドル危機の回顧」1～2，昭和62・63年，同上紀要

「SDR—中心的準備となりうるか—」昭和63年，証券投資信託月報

「国際通貨体制の展望」平成元年，証券投資信託月報

「ドル危機（1970年代）をめぐる投機と国際金融市場」平成3年，文京女子大学紀要・経営論集

「欧州通貨統合」平成4年，同上紀要

「円高問題」1～2，平成5・6年，同上紀要

「国際通貨体制の一考察」平成7年，同上紀要

「円の国際化(序論)」平成8年，同上紀要

「東アジアの通貨危機」平成9年，同上紀要